※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	ペン字ワークブック（日本書法研究会）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写で学んだことを発展させ、書体や用具用材による表現の違いを理解し、その技法を習得し、書の世界にはさまざまな美しさがあることを学びましょう。
・漢字の楷書や行書を重点的に様々な書体を体験し、自分らしい表現で文字を書くことが出来るようになることを目指します。
・仮名や漢字仮名交じりの書を学び、自分の言葉を自分らしい文字で表現出来ることを目指します。
・身近に飾ったり、使える作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

・知識及び技能：
表現の基礎を学び、臨書や鑑賞、創作の学習を通じて、様々な古典や名筆の美や技法に触れ、自己表現に生かす。
・思考力、判断力、表現力など：
書の美の要素を分析し、試行錯誤して、書表現に自らの創意工夫をこらす。
・学びに向かう力、人間性など：
書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、書で表現することで自らの心も豊かにしていく。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式、その多様性について幅広く理解している。 ・日本や中国の文字、書の伝統や文化、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、目的や用途に即した効果的な表現の技能を身につけている。	・字形の構成や全体の構成について多面的・多角的に考察、構想している。 ・感性を働かせながら、自らの意図に基づいて表現を構想し、表現を工夫している。	・書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	篆刻	・落款 ・篆刻の種類と用具 ・運刀、押印	a. 落款の意味や必要性、字形や配字、運刀について理解し、特徴を生かした表現の技能を身につけている。 b. 線質の美しさを感受し、字形や構成について試作を繰り返し、表現を工夫している。 c. 主体的に篆刻・刻字に興味・関心を持ち、幅広い表現活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品 学習活動の様子 ワークシート 振り返りシート
1	書写から書道へ	・書写の確認と芸術科書道 ・用具用材 ・姿勢、執筆法 ・色々な線や形による表現の広がり	a. 姿勢や執筆法の基本を身につけ表現している。 c. 書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち、主体的に今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。	作品 ワークシート		作品 学習活動の様子 ワークシート 振り返りシート
	漢字の書 楷書	・楷書の用筆法、結構法 ・楷書の成立と唐の四大家 ・楷書の比較 ・臨書・鑑賞 九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑 雁塔聖教序 顧氏家廟碑 牛橛造像記 ・半切ニ分の一作品の制作 ・団扇作品の制作	a. 楷書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身につけ、表現している。 b. 用筆、字形、構成について構想し、普遍性のある表現を工夫している。様々な書風のよさを感じ取っている。 c. 楷書の美と表現方法に関心をもち、主体的に漢字の書の学習活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品 学習活動の様子 ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

1	漢字の書（硬筆）	・楷書・行書 （夏季休業中の課題としても扱う）	b. 国語科書写で身につけた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c. 日常生活の硬筆（手書き文字）の書の効用について理解し、そのよさを味わっている。主体的に取り組み、丁寧に書く態度を養っている。		ワークブック	ワークブック 提出期日
2	漢字の書　行書	・行書の特徴 ・臨書・鑑賞 蘭亭序 風信帖 ・半切臨書作品の制作	a. 行書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身につけ、表現している。 b：古典の臨書・鑑賞を通して行書の美やよさを感受し、字形の特徴を捉え、運筆・字形について構想し、構成を工夫している。 c. 古典の臨書・鑑賞を通して行書の美とその表現技法に関心をもち、表現技法を高めようと、主体的に取り組んでいる。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品 学習活動の様子 ワークシート 振り返りシート
2	漢字の書　草書・隷書・篆書	・草書の臨書・鑑賞 真草千字文 ・隷書の臨書・鑑賞 曹全碑 ・篆書の臨書・鑑賞 泰山刻石 ・カレンダー作品の制作 四字熟語	a. 鑑賞と表現は相互に関連していることを理解している。書のよさや美しさを感じ、創造的な表現をするために、用具・用材、線質、字形、全体の構成などの技能を身に付け、表現している。 b. 自己の表現のねらいを達成するために、古典のもつ伝統的な美を生かし、表現を構想し工夫している。 c.　様々な書体の持つ美と表現技法に関心をもち、その表現の豊かさを味わおうとしている。意欲的、主体的に漢字の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品 学習活動の様子 ワークシート 振り返りシート 展示

※令和４年度以降入学生用

3	仮名	・仮名の成立 ・仮名の美 単体 連綿 変体仮名 散らし書き ・臨書・鑑賞 蓬莱切 高野切第三種 ・仮名の創作 料紙に書く	a. 様々な仮名のよさや美を感じ取り、日本の書の伝統と文化について幅広く理解している。仮名の基礎・基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解し、創造的な表現方法を身につけ、表現している。 b. 単体・連綿や変体仮名、散らし書きなど日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫している。また、自己の表現のねらいを達成するために、古筆のもつ伝統的な美を生かし、表現を構想し工夫している。 c. 仮名の成立に関心をもち、意欲的、主体的に理解しようとし、仮名の美を味わおうとしている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品 学習活動の様子 ワークシート 振り返りシート
3	漢字仮名交じりの書	・線質の調和 ・全体構成 ・古典を生かす ・創作	a. 芸術的な表現をするために、これまでに学んだ古典を思い出し、その形式や表し方を改めて理解している。目的や用途に即して表現する技能を身に付け、表現している。 b. 様々な表現の違いと美を感じ取っている。自己の表現のねらいを達成するために、自らの表現意欲を高め、用具・用材、線質、字形、全体の構成などについて工夫している。 c. 書を身近なものとして捉え、目的や用途に即した芸術的な表現について基礎的な事項を理解し、自ら表現活動を楽しんで行おうとしている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品 学習活動の様子 ワークシート 振り返りシート 創作発表 （批評会）

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度